



一本松まちづくりひろば

24

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 杉山 邦彦

○■ 令和元年度定期総会および第1回まちづくり検討会開催 ■○

令和元年度一本松まちづくり協議会総会を5月26日(日)一本松小学校図書室をお借りし、関係者34名(委任状4枚)の参加の下に開催しました。平成30年度の報告、令和元年度の予算・事業計画ともしご承認を頂きました。

1部総会では、1号議案：平成30年度事業報告

2号議案：平成30年度決算・会計監査報告

3号議案：令和元年度事業計画

4号議案：令和元年度予算

5号議案：まちづくり委員・役員の確認

以上についてすべて承認可決されました。



※※※ 我が家の相続対策講座 ～相続の基礎知識～ ※※※



第2部は、特定非営利活動法人「横浜市まちづくりセンター」のみなさまによる「我が家の相続対策講座～相続の基礎知識～」のご講演。相続にまつわる思わぬトラブルの実例と予防策について、専門の方々よりご紹介頂きました。

関係ないと思われがちな遺言書も転ばぬ先の杖として活用するお話は衝撃的で、参加者からの質疑応答も行われ、盛況でした。

まちづくり委員の名簿

羽沢西部自治会				西戸部二丁目第一自治会			
番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名
1	米岡 美智枝	12	河村 正雄	1	杉山 邦彦	9	赤司 伊美子
2	川島 明弘	13	本郷 正義	2	稲葉 高久	10	蓑島 千代子
3	河野 史明	14	川島 しのぶ	3	井上 富義	11	鈴木 美智子
4	芝山 帛子	15	小林 紀子	4	斎藤 明	12	西田 千寿子
5	田中 真理世	16	内藤 文喜	5	吉永 主税	13	薄井 光子
6	粉川 尚人	17	奥井 利幸	6	横田 昭納	14	前田 紀代子
7	八木下 実	18	神野 和良	7	塩原 憲一	15	杉山 公子
8	瀬戸 満智子	19	神野 房子	8	立川 知行	16	並木 弘
9	萱沼 君子	20	村上 圭三				
10	川村 美江	21	松澤 輝己				
11	作中 宏	22	松崎 紀子	23	伊藤 信之		



防災まちづくりのための
住民参加型

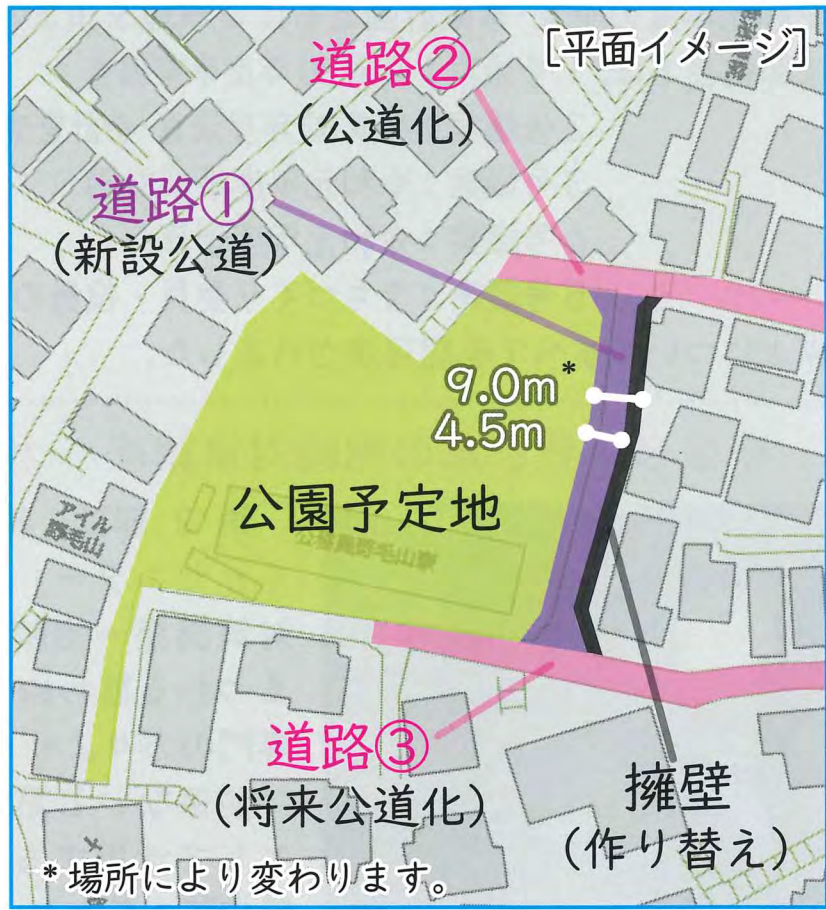
「公園づくり」プチ特集！



防災まちづくりのための公園として、横浜市が「旧野毛山公務員寮跡地」に公園を整備します。昨年から羽沢西部自治会を中心に、公園に関する勉強会を横浜市やコーディネーターの方々の指導を頂きながら行っています。一本松まちづくり協議会ではこの貴重な機会の進捗を記録し、レポートして参ります。

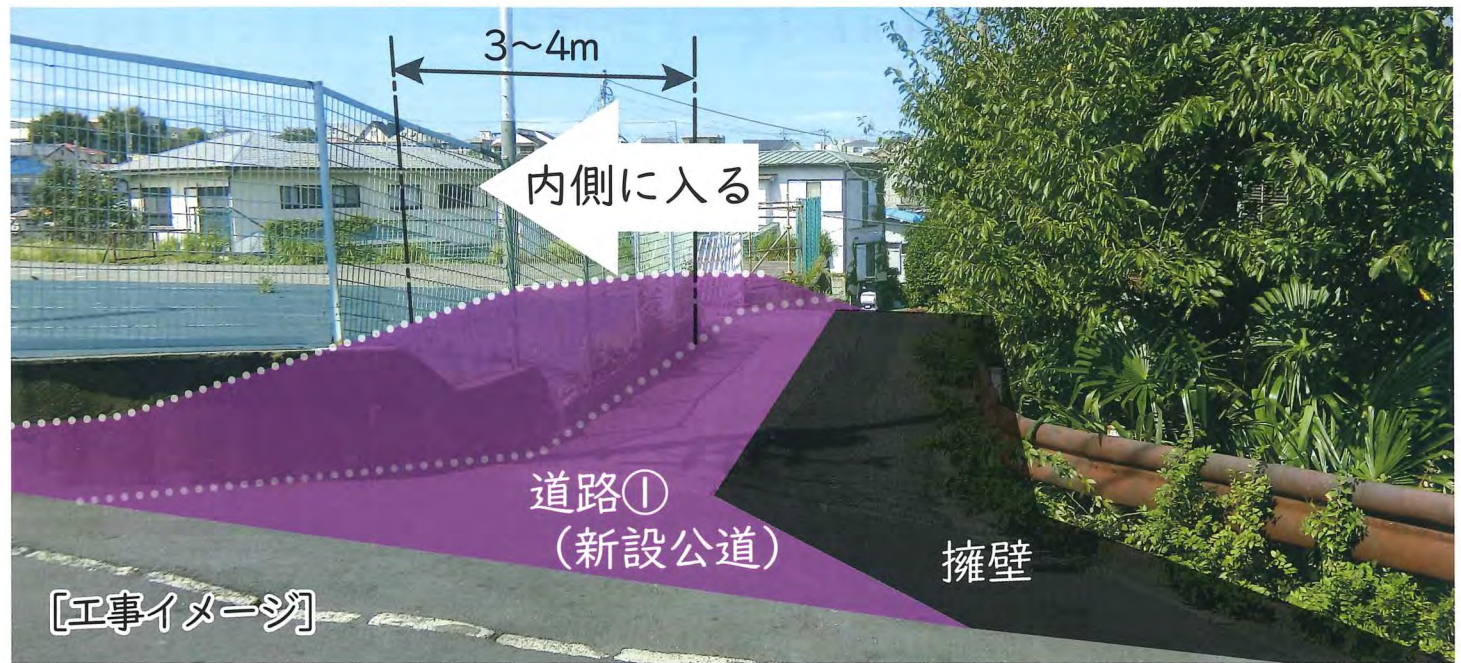
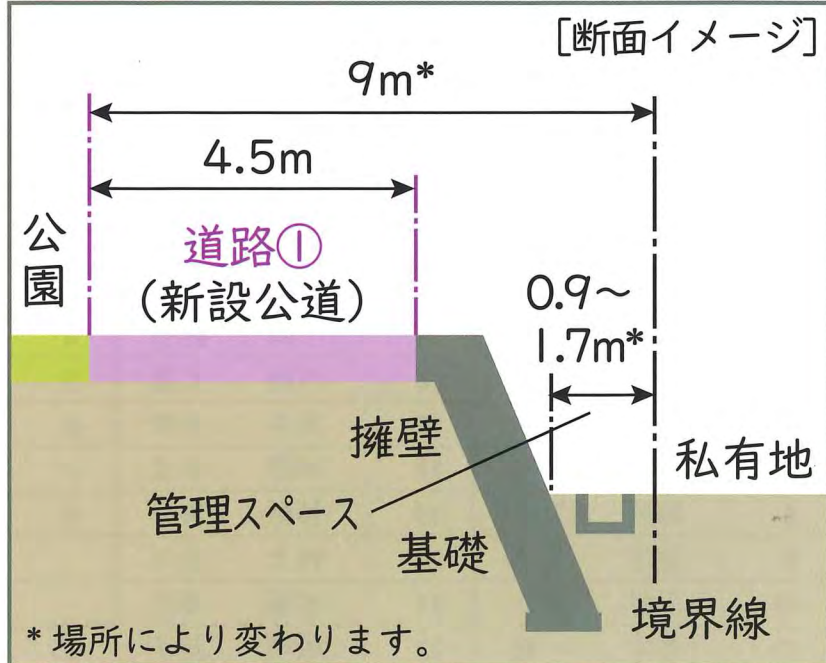
公園づくりその一：周辺の道路を整備する（整備：横浜市都市整備局）

【公道の新設・私道の公道化】
横浜市の公園として整備するためには、公道（横浜市道）に接していることが必要です。現在の公園予定地は私道にしか接していないため、道路を公道の基準にあわせて整備し、公道とする必要があります。右図の**道路①**を新たに作り、既存の**道路②③**を公道化します。



【幅員の調整】
道路②③は、元々あった道路のため、1.8m以上の幅員があれば公道とすることができます。しかし、**道路①**は新設のため、横浜市の場合は4.5m以上の幅員が必要です。（もともとは公務員宿舎の敷地内の通路で、法的な「道路」ではありませんでした。）

【擁壁の作り替え】
道路①は隣地との高低差があるため、擁壁（土留め）が必要です。現在の擁壁は道路の基準に合わないため、基準に合う構造に作り替えます。
新しい擁壁は現在よりも傾斜が緩くなります。また、擁壁の下には、擁壁から出る雨水を集めるU字溝、管理用の通路、地中の擁壁の基礎のスペースが必要です。隣地の境界から擁壁の根元まで0.9m～1.7mの部分がそのスペースに当てられます。



従いまして、新設する**道路①**と公園の境界は、現況よりも3m～4m公園予定地側に入った位置（官民境界から約9m）になります。

擁壁あれこれ

地盤条件、工事の安全性、工事費用、工事期間などを考慮して、ここでは「間知ブロック積擁壁」が採用されました。

間知ブロック積擁壁（採用）

斜面にもたれさせるようにブロックを積むことで斜面を保つ。壁に勾配がある分、平面的なスペースは必要になる。地盤改良は不要。地盤の掘削が少なく周辺への影響が少ない。作業性も良い。工期短く作業費少なめ。

総合評価 ◎

L型擁壁（ブックエンド）

L形の鉄筋コンクリート造の壁体と底板からなり、底板上の土の重量も利用して背面の土の圧力を支える。擁壁のスペースは少なくてすむ。地盤の支持力不足のため地盤改良必要。掘削範囲が広く地盤改良による周辺への影響が大きい。工期長く作業費も高い。

総合評価 △

重力式擁壁

コンクリート造の擁壁の重さでその背面の土の圧力を支える。擁壁のスペースは少なくてすむ。地盤の支持力不足のため地盤改良必要。掘削範囲が広く地盤改良による周辺への影響が大きい。工期やや長く作業費も高め。

総合評価 △



公園作りのスケジュール

これまでの流れと今後のすすめ方について

公園の予定地が「一本松防災まちづくり計画」に位置付けられていたことにより、国の用地売却に合わせて協議会から防災公園・広場設置の要望書が出され、横浜市がこれを受けて用地を取得、整備されることとなりました。協議会ではアンケートを実施し勉強会を開いて意見やアイデアを出し合い、行政と協働しながらみんなの公園づくりに取り組んでいます。

地域（一本松まちづくり協議会を含む）

行政（都市整備局・環境創造局・西区）

一本松まちづくり協議会設立 H18.6

コーディネーター派遣等による支援

「一本松防災まちづくり計画」プラン認定 H20.8 「ミニ防災広場」候補地として位置付け

防災公園、広場設置要望書提出 H22.3.8

・国との協議、用地取得 H25-31年度
・既存建物撤去、道路・公園整備に向けた調査・設計等 H30年度

第1回「みんなで話そう」 H31.4.21
新公園アンケート実施 H31.4.25～5.2
大人123名+子ども11名(約300戸・約40%)
第2回「みんなで話そう」 R1.5.19

関係行政と地域の協議 地域で勉強会開催了承 R1.5.29

勉強会の開催

第1段「公園をつくる話をしよう」 R1.8.25
第2段「公園をつくる話をしよう」 R1.9.22
第3段「公園をつくる話をしよう」 R1.10.20

新公園の整備スケジュール
擁壁、道路整備の説明

「公園をつくる話をしよう」への参加

勉強会「公園をつくる話をしよう」のまとめ
・公園づくりの条件
・まちづくりの検討課題

公園づくり、まちづくりの役割、分担整理

いまここ

擁壁、道路整備

公園づくりのためのワークショップ(1回～)

ワークショップ

設計案の検討

新公園の維持管理・運営の体制づくり
新公園の名称(愛称)募集 等

・新公園の基本設計
・新公園の実施設計

・新公園の整備

新公園の開園・オープニングセレモニー